

期間：2015年3月1日(日)～9日(月)

料金：学生21万5000円、社会人23万5000円

* 燃油サーチャージや空港使用料、保険などは含みません

〆切：2015年1月15日(木)

定員：8人(先着順)

事前研修：2月中を予定

2015年春

基礎ジャーナリスト講座 inセブ

本気のスタディツアーだから観光なし！
開発メディアganas編集長がマンツーマン指導

ねた探し！
英語で取材！
伝わる記事を執筆！
優秀な記事は掲載・発信！

ベトナム・ハノイに拡大決定！

少数民族支援の
NGOを取材！？



ネパール・カトマンズ
期間：来夏の催行を目指します
料金：未定

ベトナム・ハノイ
期間：2015年3月14日(土)～21日(土)
料金：学生21万5000円、社会人23万5000円
* 燃油サーチャージや空港使用料、保険、昼食・夕食(最初と最後の夕食は除く)などは含みません
〆切：2015年1月30日(金)
定員：8人(先着順)
事前研修：2月中を予定



前回(2014年9月13~20日)の日程

「基礎ジャーナリスト講座 in セブ」アイティネラリー (2014年9月13日時点)								
	13日(土)	14日(日)	15日(月)	16日(火)	17日(水)	18日(木)	19日(金)	20日(土)
午前	-	7時 起床・朝食 8時~8時半 ブリーフィング(ホテル周辺散策も) 8時半 ホテル出発 9時~12時 カルボンマーケット取材 & アンケート取材	7時 起床・朝食 8時~8時15分 ブリーフィング 8時15分 ホテル出発 9時~11時 セブシティ山間部(Busay)の農村取材	7時 起床・朝食 8時~8時半 ブリーフィング 8時半 ホテル出発 9時~10時半 ごみ山(Inayawan)、周辺地域の取材 10時半~12時 漁業組合のマイクロファイナンス(Tulay sa kinabuhi fisherman cooperative)の取材	選択制(休日・自由参加) プラン①5つ星ホテルのカフェで貧富の差を実感! プラン②日帰り強行プラン! 早朝出発して台風ハイエンの被災地パンタヤン島へ	7時 起床・朝食 8時半~11時 アンケート取材(または別の選択肢もあり) 11時半~12時 ブリーフィング	7時 起床・朝食 8時 ブリーフィング 8時15分 ホテル出発 8時半~10時 Tejero elementary school 10時半~12時 Department of Education	7時 起床・朝食 8時 取材・記事の書き方についてまとめ
昼食	-							解散
午後	到着	13時半~ ・取材の成果シェア ・記事の書き方について ・記事の執筆	13時半~ ・取材の成果シェア ・記事の書き方について ・記事の執筆	13時半~ ・取材の成果シェア ・記事の書き方について ・記事の執筆	プラン③近所のサリサリストアや食堂でインタビュー	13時~14時 Sun Star取材 14時半~ ・取材の成果シェア ・記事の書き方について ・記事の執筆	13時半~ ・取材の成果シェア ・記事の書き方について ・記事の執筆	-
夕食								-
就寝まで	到着	執筆・添削	執筆・添削	執筆・添削	執筆・添削	執筆・添削	執筆・添削	執筆・添削



ハノイの 取材先候補

・平和村 ・少数民族支援のカフェ ・NGO ・市場
・学校 ・農村 ・
ローカルビジネスなど

*ご希望があればアレンジいたします。



1日の基本的なスケジュール

- 7.00 起床・朝食
- 8.00 ブリーフィング
- 9.00 取材
- 12.00 昼食・休憩
- 14.00 ブレスト、記事の執筆
- 19.00 夕食
- 20.00 記事の執筆・添削・リライト
- 24.00 就寝



こんな人にお薦め

1) 途上国を掘り下げたい人！

フィールドワークの実践を積みみたい！

事業可能性調査 (FS) のやり方のイメージをつかみたい！

貧困や教育、ジェンダーについて知りたい！

2) メディア・広報を仕事にしたい人！

価値ある情報を万人に向けて発信したい！

プロのライターになりたい！

自分の目で見た途上国を伝えたい！

他のツアーにない「特長」

1) 毎日取材する！

- ・取材先はいろいろ。貧困、環境、教育、ジェンダーなど、途上国を象徴する場所に行きます。
- ・多様なところを取材するから、途上国を多角的な視点で見られるようになります。

2) 毎日記事を書く！

- ・インプット(見る・聞く・感じる)だけでなく、アウトプット(記事として発信)を重視します。
- ・アウトプットするには「より考える」必要があるため、ものの見方が整理できます。伝える力もアップします。

講師



長光大慈(ながみつ・だいじ)

開発メディアganas編集長。オルタナ編集委員。上智大学を卒業後、アジア最大の日本語媒体であるNNA（現在は共同通信グループ）のタイ支局とフィリピン支局を立ち上げる。電気新聞記者、フリーライター、デベックス・ジャパン・メディア部門責任者などを経て現職。10年以上の海外在住経験（米国、タイ、フィリピン、インドネシア、ベネズエラ）、2年以上の旅行経験（40カ国以上）をもつ。青年海外協力隊のOBでもある。

後藤陽(ごとう・よう) *セブのみ

医療英語が学べるオンライン英会話スクール「メトーク」代表取締役。スタディツアーコーディネーター。聖路加看護大学大学院中退後、フィリピンに渡り起業。セブに関わり5年。現地邦人やフィリピン人とのネットワークを多数持つ。

お申し込みは日本エコプランニングサービスのウェブサイトからお願いします！

セブ

http://www.jeps.co.jp/tours/philippines/devmedia_cebu.html

ハノイ

http://www.jeps.co.jp/tours/vietnam/devmedia_hanoi.html

 ボランティアツアー・スタディツアー・エコツアー 旅を通して社会貢献・国際協力を！

旅を通して社会貢献を！

会社紹介 スタッフ募集

HOME ツアー一覧&催行状況 テーマから探す 行き先から探す 高校生ポラ

ツアー一覧&催行状況 > NPO法人開発メディア「基礎ジャーナリスト講座inセブ9日間

ツイート 0 いいね! 0 +1 1



※写真はイメージです。

NPO法人開発メディア 「基礎ジャーナリスト講座」inセブ9日間

6日間

出発日: 2015年3月1日(日)~3月9日(月) 9日間
行先: フィリピン
添乗員: なし ※開発メディア日本人コーディネーター及び現地日本語係員がお世話いたします。

旅行代金: 215,000円(学生)・235,000円(社会人)

ツアーを予約する

企画者からのメッセージ

開発メディアganasのモットーは「途上国を知る。世界が広がる。」です。基礎ジャーナリスト講座では、途上国を、賞しさや笑顔だけでなく、数字や現地の人たちの気持ち・立場など”見えにくい部分”も意識して、自分の言葉で記事を書いてもらいます。途上国といってもそこには多様な人が暮らしていて、ステレオタイプ的に一括りすることはできません。途上国を「複眼の視点」でとらえることで、参加者の世界・価値観も広がると考えています。

 ボランティアツアー・スタディツアー・エコツアー 旅を通して社会貢献・国際協力を！

旅を通して社会貢献を！

会社紹介 スタッフ募集

HOME ツアー一覧&催行状況 テーマから探す 行き先から探す 高校生ポラ

ツアー一覧&催行状況 > NPO法人開発メディア「基礎ジャーナリスト講座」inハノイ8日間

ツイート 0 いいね! 0 +1 1



※写真はイメージです。

NPO法人開発メディア 「基礎ジャーナリスト講座」inハノイ8日間

6日間

出発日: 2015年3月14日(土)~3月21日(月) 8日間
行先: ベトナム
添乗員: なし ※開発メディア日本人コーディネーター及び現地日本語係員がお世話いたします。

旅行代金: 215,000円(学生)・235,000円(社会人)

ツアーを予約する

企画者からのメッセージ

開発メディアganasのモットーは「途上国を知る。世界が広がる。」です。基礎ジャーナリスト講座では、途上国を、賞しさや笑顔だけでなく、数字や現地の人たちの気持ち・立場など”見えにくい部分”も意識して、自分の言葉で記事を書いてもらいます。途上国といってもそこには多様な人が暮らしていて、ステレオタイプ的に一括りすることはできません。途上国を「複眼の視点」でとらえることで、参加者の世界・価値観も広がると考えています。

< 現地プログラム企画 >

特定非営利活動法人開発メディア (媒体名「開発メディアganas」)

フェイスブック⇒ <https://www.facebook.com/devmedia.net>

ウェブサイト⇒ <http://dev-media.blogspot.jp/>

メール⇒ devmedia.ganas@gmail.com

* お問い合わせ、大歓迎です。

メドトーク (セブのみ)

ウェブサイト⇒ <http://www.medtalk.asia/>

フェイスブック⇒ <https://www.facebook.com/MedTalkInc>

メール⇒ support@medtalk.asia

< 旅行企画・実施 >

株式会社日本エコプランニングサービス

ウェブサイト⇒ <http://www.jeps.co.jp/>

※旅行代金及び内容が確定いたしましたら、株式会社日本エコプランニングサービス(観光庁長官登録旅行業第 1789 号 <http://www.jeps.co.jp/>)の旅行企画・実施による募集型企画旅行として改めてご案内させていただきます。詳細確定まで今しばらくお待ちください。



参加者の声(2014年夏) 森彩香さん(学生)

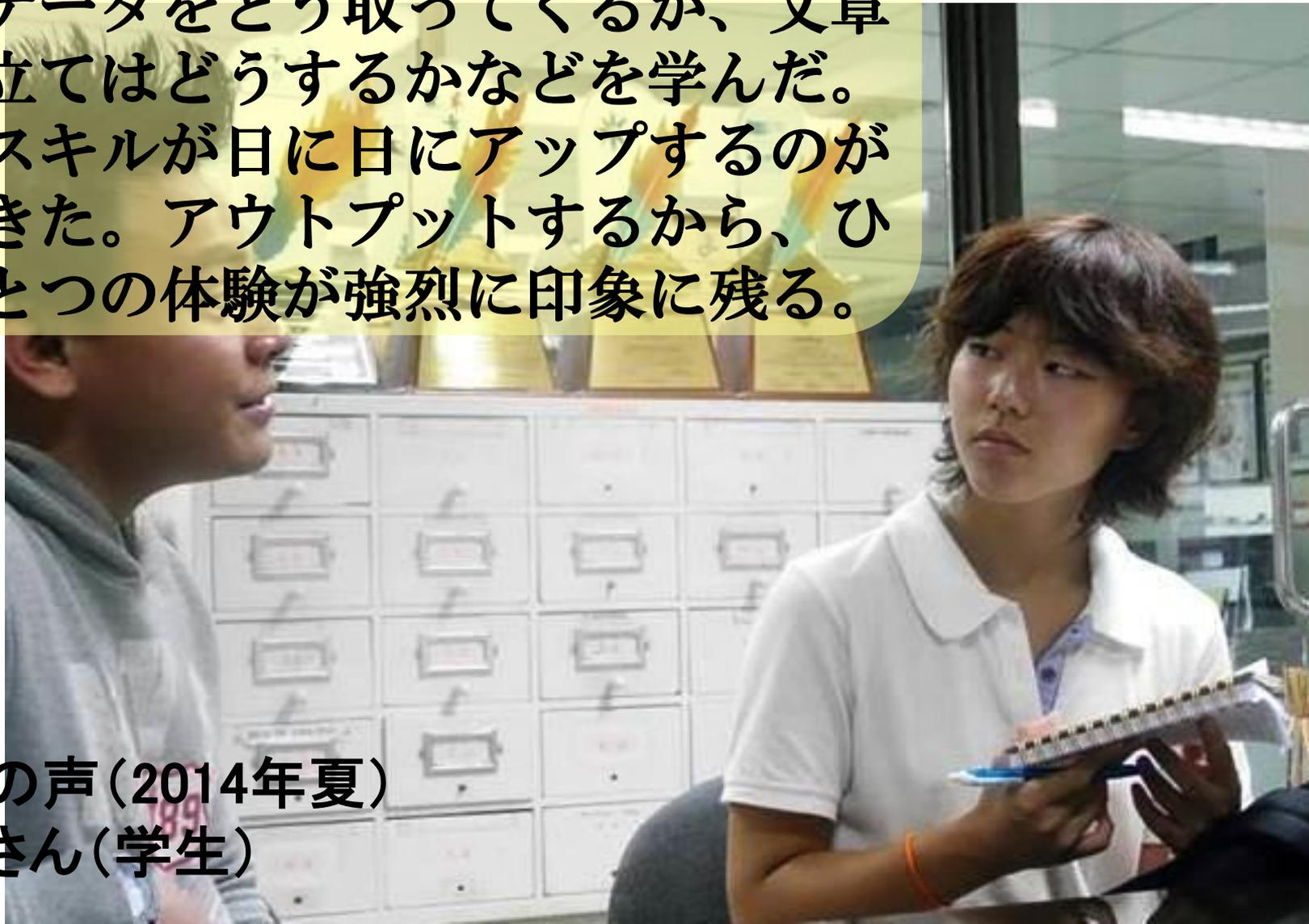
個人で自由に取材できるのが楽しい。複数の人にインタビューすると、記事に深みが出るのがわかった。悲惨そうに見える人が実はその現状に満足していることも意外だった。

途上国についてあまり勉強してこなかったが、これからはフィリピンに限らず学んでいきたい。



インタビューの際にどうやって人の心をつかむか、知りたいことをどう聞き出すか、データをどう取ってくるか、文章の組み立てはどのようにするかなどを学んだ。自分のスキルが日に日にアップするのが実感できた。アウトプットするから、ひとつひとつの体験が強烈に印象に残る。

参加者の声(2014年夏)
小島彩さん(学生)



参加者の声(2014年夏) 野口麻里奈さん(学生)

参加者のニーズに合わせて取材先を決めていくところが魅力的。現地で調べたいことがある人、自分のやりたいことができるツアーがないなと思っている人に薦めたい。私たちの興味を尊重して活動させてもらえた。

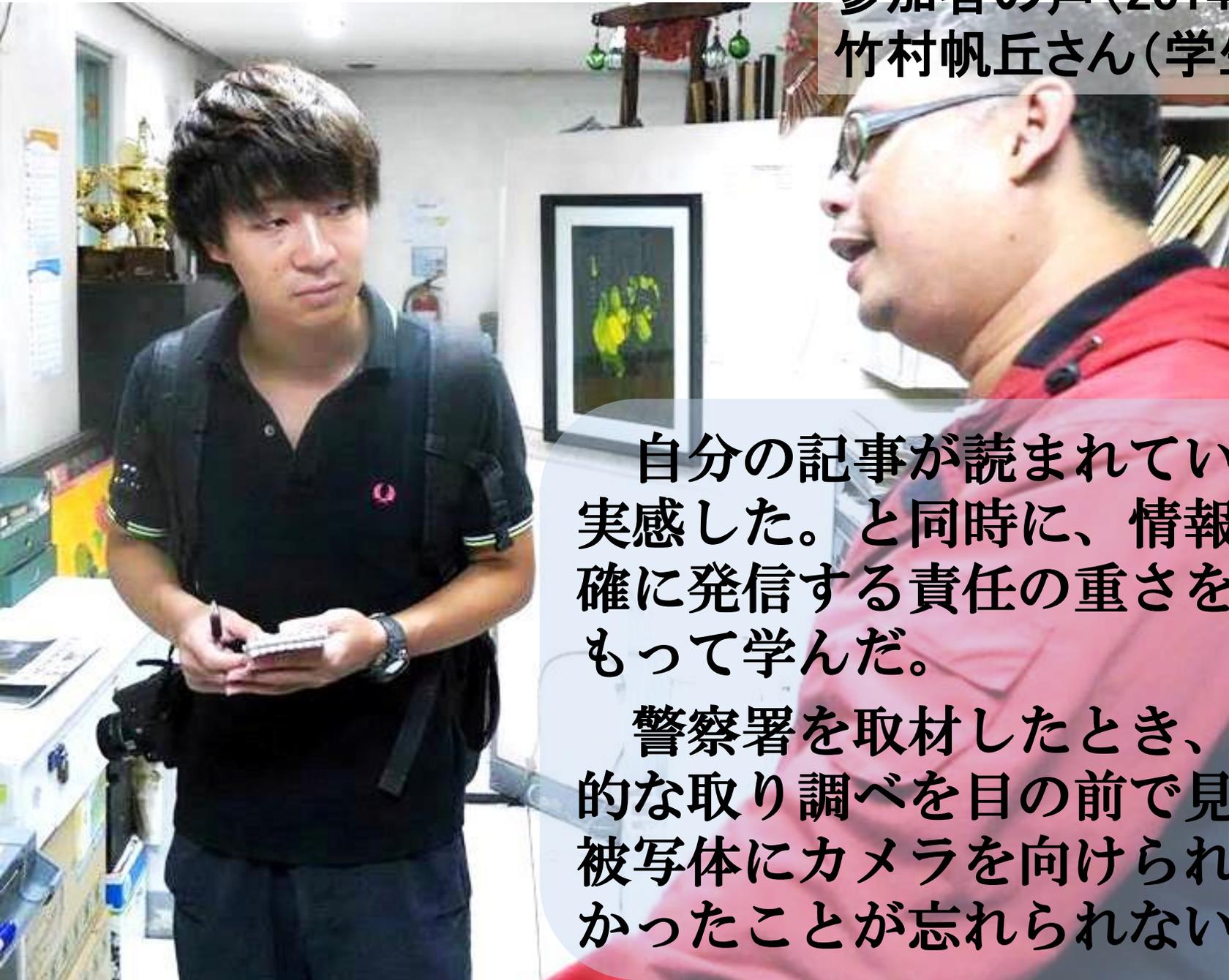


参加者の声(2014年夏) 高崎浩子さん(社会人)



ただの道もアンテナを張って歩けば見えないものが見えてくる。それを記事にするプロセスで、社会的背景が浮き上がる場合もある。このツアーでは数字、根拠の重要性を学んだ。

参加者の声(2014年夏)
竹村帆丘さん(学生)



自分の記事が読まれていると実感した。と同時に、情報を正確に発信する責任の重さを身をもって学んだ。

警察署を取材したとき、暴力的な取り調べを目の前で見たと。被写体にカメラを向けられなかったことが忘れられない。

参加者の声(2014年夏)
影林紫音さん(学生)

ごみ山に衝撃を受けた。目の前のコミュニティに大卒の元英語教師が住んでいたり、衛生状態が悪いのに妊婦がごみを拾っていたり、勉強が嫌いで学校を辞めた子どもの対応に困る母親がいたり、そこには「生活」があった。

取材では英語を使うため、英語の大切さも身に染みだ。



参加者の声(2014年春) 伊藤駿さん(学生)



学んだのは、人に伝える楽しさ。大学のレポートなら30分で終わる文章を、4時間近くかけて書きました。自分の言葉で書くことで、貧困地域で見た衝撃を、漠然なものからクリアなものにできました。

“これぞ勉強だ！ほんと楽しい！もっと知りたい！”という気持ちで毎日を過ごしました。

学んだ経験はアウトプットしてこそ生きる。このツアーの特色は、学んだことをその日のうちに、多くの人に伝える記事にすることだ。ただの感想では終わらせない。

だからこそ、行く先々でより深く学び、話を聞き、物事を深く掘り下げることができる。



参加者の声(2014年春)
原彩子さん(社会人)

参加者の声(2014年春) 後藤田知恵さん(学生)

現場を見て、現地の人の話を聞いて、文字として何をどう残すか。難しかったが、同時に楽しく、現地の人々のメッセージをダイレクトに受け取ることができた。

個人ではなかなか行けないところも訪問でき、等身大のフィリピンと出会った。



参加者の声(2014年春) 鹿島早織さん(学生)



途上国に携わっていきたい人は絶対行くべきです！ この講座で、現地の人たちにどうやって話を聞いたらいいいのか、自分が見たこと・聞いたことをどうまとめればいいのか、コミュニケーションについて深く深く考えることができました。

講座で得られるもの

(1) 取材の仕方

……あなたの好奇心を「情報」に！

(2) 伝わる文章の書き方

……読まれる文にはコツがある

(3) 途上国の多面性を実感

……脱ステレオタイプ！ 貧しさだけではない

(4) 英語を話す度胸

……文法？そんなのまったく関係ありません！

(5) 出会いとネットワーク

……取材は出会いの連続！



(1) 取材の仕方



取材テーマをどう選ぶ？

質問項目をどう考える？

取材対象とどんなやりとりをする？

いざインタビュー！

* 取材は、現地の事情を深く知る手段でもあります。卒論のフィールドワークや企業のリサーチにも活用できます。企画力の源泉にもなります。



(2) 伝わる文章の書き方

書く前にどうやってブレストする？

段落構成は？

単語や語順、コメント、数字はどうする？

書いてみよう！

* 不特定多数の人に伝わる文を書くには、文章力だけの問題ではありません。伝えたいことに「ピント」を当てることが重要です。このノウハウはエントリーシートの作成にも役立ちます。

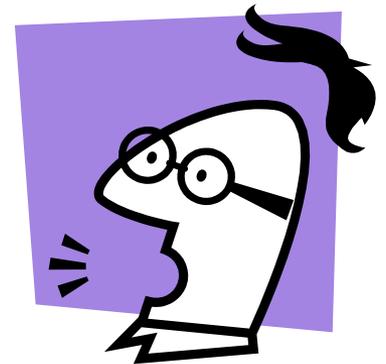
(3) 途上国の多面性を実感

「途上国は○△だ」というイメージは正しい？

多様な人から多様な話を聞く

文化・歴史に興味をもとう

独自の切り口を見つける！



* 途上国＝貧しさ or 笑顔、ではありません。インプットとアウトプットの両方を繰り返すことで、関心のあるテーマをより深く、より多角的に考えることができます。

(4) 英語を話す度胸



フィリピン人の英語はゆっくり

声をかけてみよう

英語でインタビュー！

刺激を受ける・自信を深める！

* オーソドックスな取材は基本的な英語で十分。より重要なのはコミュニケーション力というのが実感できます。話題の引き出しを作りましょう。

(5) 出会いとネットワーク

新しい仲間・取材先と出会う

喧々諤々の議論

講師が「特異な視点」を提供！

異なる価値観を認め合う

* 途上国と一緒に活動した仲間は一生の宝物。取材先のフィリピン人やベトナム人とのネットワークもできます。



こんな特典も！

- 開発メディア ganas のボランティア記者になることができます
- 開発メディア ganas の「ライター講座」(東京)にヘルパーとして無料参加できます
- インタビューに使える英会話のオンライン授業(メドトーク提供)を事前に割安で受けられます

2014年夏の受講者が書いた記事一覧(1)

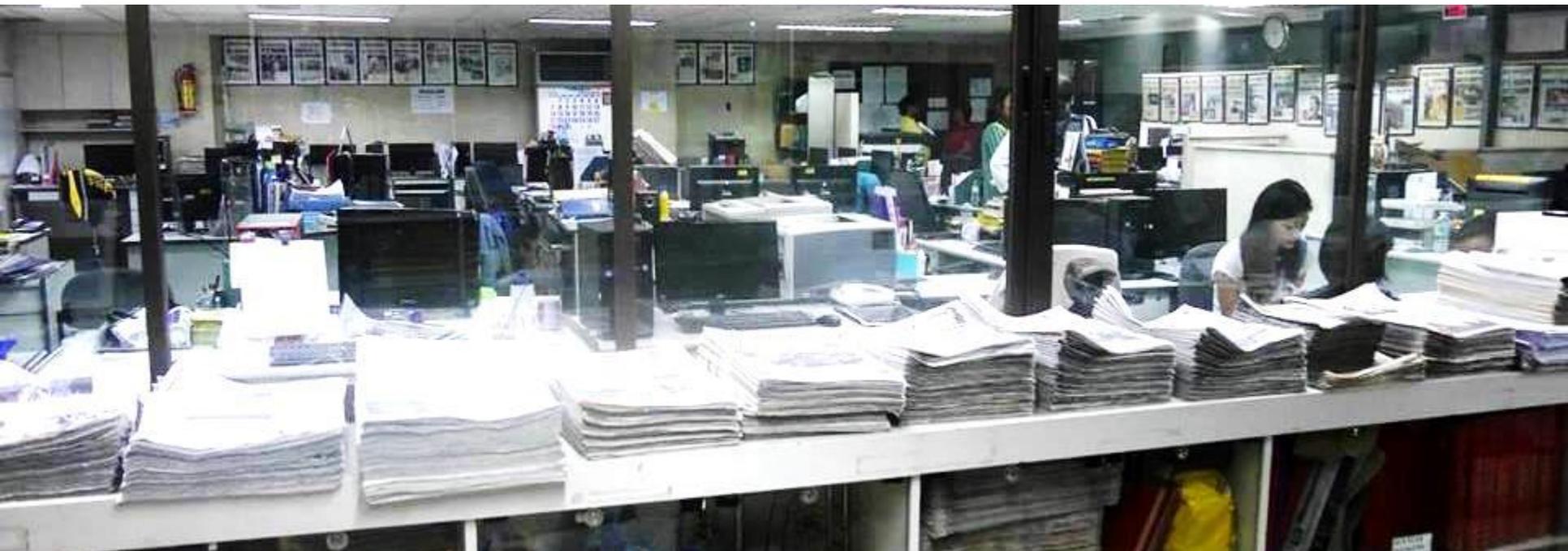
- [“子どものキリスト像”に商売繁盛を祈る？ セブ流信仰](#)
- [日本vsフィリピンの“えびせん対決”！ 浮かび上がる「静かなる疾患」](#)
- [セブのカルボンマーケットを100人の警官が守る、取り調べは暴力的](#)
- [セブの“豆腐デザート”を売る青年、ネイルアートをするのは「売り上げのため」](#)
- [「ふりかけ」はセブで売れる？！ 42人全員が「おいしい」](#)
- [セブの小作人の苦悩、42歳年下のいとこの息子に「働かせてください」](#)
- [セブ農村の託児所の先生と農家の男性、同じ収入でも満足度に違い](#)
- [セブのデリバリーサービス、山村に鮮魚が届く](#)
- [週末は学費稼ぎにセブの市場で働く！ 収入は1日2500円](#)
- [セブを襲った台風ハイエンで損害2000万円、再建に向けた若き農場経営者の挑戦](#)
- [価格は3倍！ セブの農家に無農薬野菜を求める韓国人](#)
- [セブ島の漁村にオクラ畑！ 収入で“豪邸”建てる農民も](#)
- [セブのごみ山で「5000円見つけた」、超ラッキーなおじいさん](#)
- [セブの漁村で20年以上活躍する井戸、地下150メートルから水をくみ上げる](#)

2014年夏の受講者が書いた記事一覧(2)

- セブ郊外の村にネットカフェ、料金は5分2.5円
- セブ市の「ごみ削減」と「観光客誘致」をJICAが支援、2015年までに廃棄物50%削減めざす
- 「男は働かない！」フィリピン人女性が不満を募らせる、“ジェンダー格差の少ない国”の憂鬱
- 台風ハイエンの被災地バンタヤンの島民ら「家がほしい」、交錯する復興の光と影
- 漁業を継いだセブ島のUターン漁師、「マイクロクレジットのおかげでエンジンを買えた」
- もはや“読者”ではない！？ セブの新聞社サンスターが取り入れた「参加型記事」
- “キティ天国”フィリピン、コピー品が人気を後押し？
- フィリピン人は漬物さえ甘くする！「たくあん」はしょっぱすぎて不人気
- “エシカル農業”を実践するセブの若者、栽培の半分は有機農法
- フィリピン・セブの報道カメラマンが語る「ギブ&テイクの精神」
- 「お姉ちゃんに、おばさんに会いたい」出稼ぎ大国フィリピン、子どもたちの夢

2014年夏の受講者が書いた記事一覧(3)

- フィリピンの葬式に涙なし！ ボードゲーム「Dama」で賭け事に熱中
- 洪水が市民の環境意識を高める？ セブの英字紙と小学校が啓発に力
- 台風ハイエンの被災地に並ぶ「モスクの刻印」の家々、カトリック教徒をNGOイスラミック・リーフが支援
- “フィピン流”児童のドロップアウトを防ぐ方法、教師が「ポケットマネー」で朝食を手渡す



2014年春の受講者が書いた記事一覧(1)

- 迫る人口減少社会の救世主は“フィリピン生まれの日本人”？
- フィリピンのNPO新日系人ネットワーク 600人の日系人を就労させることに尽力
- バブル期の“産物”ジャピーノを救え！
- フィリピン在住新日系人は推定10万人、その多くが極貧状態
- セブの食堂屋店主「おれは貧しくない」、月収1万円の家族が見せた笑顔
- 【column】セブのダウンタウンの教育パパ、家庭では英語の使用以外は認めない
- 【column】値段交渉は値引き目的だけではない！ セブ市のマーケットでローカルコミュニケーションの魅力に気づく
- 比べてそっくり！？ フィリピンとジャマイカの衣装の奇妙な偶然
- 水は3回再利用、フィリピン台風直後を生き延びた知恵
- “ココナツの木”が家を壊し家を作る、セブを襲った台風ヨランダ
- フィリピン台風被災地の小学校、いまま仮設教室のまま
- セブ島の子どもたちを台風から守ったのは女性
- 1年生から能力別クラス？ セブ市の公立小学校で

2014年春の受講者が書いた記事一覧(2)

- フィリピン・セブで見た「サイエンスクラス」、優秀な人材の育成か・教育格差の拡大か
- フィリピン・ボホールで稲作指導するハーミリさん、「ワークショップ効果で収穫が2倍になった」
- セブのごみ山で出会った幼いきょうだい、健康に生きてほしいと願う
- フィリピン・ボホール島のコメ農家、天敵は「ウナギ」
- 被災地でたくましく生きる障がい者、救いは「エホバの証人」
- フィリピンを支援するNPOハロハロ、廃材雑貨の「ブランド化」目指す

